



新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成 25 年 12 月 16 日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品 14 品目、剤形・規格追加医薬品 4 品目、切り替え医薬品 11 品目、削除医薬品 10 品目が承認されました。平成 26 年 2 月 4 日（火）からオーダ開始予定です。（詳細は別紙参照）

緊急購入薬の診療科限定オーダ開始のお知らせ

下記緊急購入薬の診療科限定オーダを開始します。

オーダ開始日	緊急購入薬	対象診療科
2014 年 2 月 4 日	ビデュリオン皮下注用 2mg	第三内科
	ファムビル錠 250mg	皮膚科

安全性速報 月経困難症治療剤「ヤーズ配合錠」による血栓症について

2010 年 11 月 16 日の販売開始以降、2014 年 1 月 7 日までの間に、ヤーズ配合錠（一般名：ドロスピレノン・エチニルエストラジオール）（当院未採用）との因果関係が否定できない血栓症による死亡が 3 例報告されている。本剤使用にあたっては、以下の事項に十分留意すること。詳細は以下の URL 参照。

URL（医療関係者向け）：http://www.info.pmda.go.jp/kinkyu_anzen/file/kinkyu20140117_1.pdf

URL（患者向け）：http://www.info.pmda.go.jp/kinkyu_anzen/file/kinkyu20140117_2.pdf

- 血栓症があらわれ、致死的な経過をたどることがあるので、血栓症が疑われる次のような症状があらわれた場合は、直ちに**本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと**。

血栓症が疑われる症状：下肢の急激な疼痛・浮腫、突然の息切れ、胸痛、激しい頭痛、四肢の脱力・麻痺、構語障害、急性視力障害等

- 本剤の服用患者には、このような症状があらわれた場合は、直ちに服用を中止し、救急医療機関を受診するよう説明すること。
- 本剤服用患者には、患者携帯カードを必ず渡し、他の診療科、医療機関を受診する際には提示するよう説明すること。

医薬品・医療機器等安全性情報 No.308

★医療用医薬品の自動車運転等の注意等の記載に関する見直し等について

厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構では、意識障害等の副作用が報告されている医薬品について、自動車運転等の危険を伴う作業への注意等の添付文書への記載状況を整理・検討している。本稿では検討の経緯と、平成 25 年 11 月 26 日に製造販売業者に指示した使用上の改訂の概要を紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について改訂内容等を紹介する。

◎ボセンタン水和物(商品名:トラクリア錠62.5mg)＜肺動脈性肺性高血圧症(WHO機能分類クラスⅡ、Ⅲ及びⅣ＞

【重大な副作用】心不全、うっ血性心不全：

心不全が増悪することがあるので、投与中は観察を十分に行い、体液貯留、急激な体重増加、心不全症状・徴候（息切れ、動悸、心胸比増大、胸水等）が増悪あるいは発現した場合には、投与中止など適切な処置。

※心不全、うっ血性心不全関連症例：3 例（死亡 0）（平成 22 年 4 月～平成 25 年 9 月）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能。

「オダイン錠 125mg」の適正使用のお願い

前立腺癌治療剤「オダイン錠」の投与において発現頻度が高く、最も問題となる副作用は肝障害であり、1998年8月に緊急安全性情報により注意喚起を行っていたが、2013年に入り10月末までに2例の死亡例が報告された。本剤使用にあたって、重篤な副作用を早期に発見し、重篤化を回避するために、特に以下の事項に十分留意すること。

◆投与開始後少なくとも1ヵ月に1回は肝機能検査を実施すること。

劇症肝炎等の重篤な肝障害による死亡例が報告されているため、定期的（少なくとも1ヵ月に1回）に肝機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。

◆本剤投与中に肝機能検査値に異常が認められた場合、投与を中止すること。

AST (GOT)、ALT (GPT)、LDH、Al-P、 γ -GTP、ビリルビン上昇等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

◆本剤投与中は患者の状態を十分観察し、自覚症状の発現に注意すること。

副作用として肝障害が発生する可能性があることをあらかじめ患者に説明するとともに、食欲不振、悪心・嘔吐、全身倦怠感、痒痒、発疹、黄疸等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、直ちに受診するよう患者を指導すること。

「献血ヴェノグロブリン IH 製剤」の適正使用に関するお知らせ

「献血ヴェノグロブリン IH 製剤」は多数のドナー血漿をプールしたものを原料としているため、各種感染症の病原体又はその産生物質に対する様々な抗体を含有しており、本剤投与を受けた患者において、一過性にこれらの抗体が検出され、あたかも患者に感染したかのような検査結果をもたらすことがある。本剤投与が臨床検査値に影響を及ぼすことがあるため注意すること。（以下の使用上の注意参照）

【使用上の注意】抜粋

臨床検査結果に及ぼす影響

本剤には各種感染症の病原体又はその産生物質に対する免疫抗体が含まれており、投与後の血中にこれらの免疫抗体が一時検出されることがあるので、臨床診断には注意を要する。

製造販売承認承継等のお知らせ

薬剤名	変更前		変更後
ヘパリンナトリウム注 1万単位/10mL「タナベ」	製造販売元：田辺三菱製薬	→	製造販売元：ニプロ株式会社 (2014年2月3日以降)
献血ヴェノグロブリン IH5%0.5g/10mL	製造販売元：日本血液製剤機構	→	製造販売元：日本血液製剤機構 販売元：田辺三菱製薬 プロモーション：日本血液製剤機構 (2014年4月1日以降)
献血ヴェノグロブリン IH5%5g/100mL	販売元：田辺三菱製薬		
ノイアート静注用 1500単位	プロモーション：日本血液製剤機構		
ハプトグロビン静注 2000単位 「ベネシス」	田辺三菱		

使用期間変更のお知らせ

★インダシン静注用 1mg(一般名：インドメタシンナトリウム) <未熟児動脈管開存症治療剤>

(変更前) 使用期間：2年間 → (変更後) 使用期間：3年間 ※3年間の安定性が確認されたため

販売中止のお知らせ

★ドプスカプセル 100mg(一般名：ドロキシドパ) <ノルアドレナリン作動性神経機能改善剤>

諸般の事情により、在庫品の出荷終了をもって販売中止の予定。最終出荷時期：2014年2月頃
代替薬：ドプス OD 錠 100mg

「警告」、「効能効果」及び「用法用量」改訂のお知らせ

★イナビル吸入粉末剤 20mg(一般名:ラニナミビルオクタン酸エステル)＜長時間作用型ノイリニダーゼ阻害剤＞

【警告】 インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、本剤の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではない。

【効能効果】 A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の予防

【用法用量】 成人及び10歳以上の小児：20mgを1日1回、2日間吸入

★エルプラット点滴静注液 50mg・100mg(一般名:オキサリプラチン)＜抗悪性腫瘍剤＞

【効能効果】 治癒切除不能な膀胱癌

【用法用量】 治癒切除不能な膀胱癌にはA法を使用する。適宜減量。

A法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常85mg/m²を1日1回静脈内に2時間で点滴投与し、少なくとも13日間休薬。これを1サイクルとして投与を繰り返す。

★コンサータ錠 18mg・27mg(一般名:メチルフェニデート塩酸塩)＜中枢神経刺激剤＞

【効能効果】 注意欠陥/多動性障害 (AD/HD)

【用法用量】 18歳未満の患者：18mgを初回用量、18～45mgを維持用量として、1日1回朝経口投与。

増量が必要な場合は、1週間以上の間隔をあけて1日用量として9mg又は18mgの増量を行う。適宜増減。一日最大用量54mg。

18歳以上の患者：18mgを初回用量として、1日1回朝経口投与。増量が必要な場合は、1週間以上の間隔をあけて1日用量として9mg又は18mgの増量を行う。適宜増減。最大1日用量72mg。

★シンポニー皮下注 50mg シリンジ(一般名:ゴリムマブ)＜ヒト型TNF α モノクローナル抗体製剤＞

【警告】 2) 結核：本剤投与に先立って結核に関する十分な問診及び胸部レントゲン検査に加え、インターフェロン- γ 遊離試験又はツベルクリン反応検査を行い、適宜胸部CT検査等を行うことにより、結核感染の有無を確認すること。

★テネリア錠 20mg(一般名:テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物)＜選択的DPP-4阻害剤/2型糖尿病治療剤＞

【効能効果】 2型糖尿病 ※すべての経口糖尿病用薬およびインスリンとの併用療法可能。

★トポテシン点滴静注 40mg・100mg(一般名:イリノテカン塩酸塩水和物)＜抗悪性腫瘍剤＞

【警告】 (2) 投与予定日の白血球数が3,000/mm³未満又は血小板数が膀胱癌FOLFIRINOX法においては2クール目以降7.5万/mm³未満の場合には、本剤投与を中止又は延期すること。

(3) 投与予定日の白血球数が3,000/mm³以上かつ血小板数が膀胱癌FOLFIRINOX法においては2クール目以降7.5万/mm³以上であっても、白血球数又は血小板数が急激な減少傾向にあるなど、骨髄機能抑制が疑われる場合には、本剤の投与を中止又は延期すること。

【効能効果】 治癒切除不能な膀胱癌

【用法用量】 治癒切除不能な膀胱癌はE法を使用する。

E法：1日1回180mg/m²を点滴静注し、少なくとも2週間休薬。これを1クールとして、投与を繰り返す。適宜減量。

★ハンプ注射用 1000(一般名:カルペリチド)＜ α 型ヒト心房性ナトリウム利尿ポリペプチド製剤＞

【用法用量】 日本薬局方注射用水5mLに溶解

★5-FU注 250mg・1000mg(一般名:フルオロウラシル)＜抗悪性腫瘍剤＞

【効能・効果】 治癒切除不能な膀胱癌

【用法用量】 5. 治癒切除不能な膀胱癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法

1回200mg/m²を2時間かけて点滴静脈内注射。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして400mg/m²を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして2400mg/m²を46時間持続静注。これを2週間ごとに繰り返す。適宜減量。

★メロペン点滴用バイアル 0.5g(一般名:メロペネム)＜カルバペネム系抗生物質製剤＞

【用法用量】 化膿性髄膜炎：(成人)1日6gを3回に分割し、30分以上かけて点滴静注。適宜減量。

(小児)1日120mg/kgを3回に分割し、30分以上かけて点滴静注。適宜減量。

ただし、成人における1日用量6gを超えないこととする。

オーダ中止のお知らせ

以下の薬剤のオーダを中止

オーダ中止日	薬剤名	理由
2014.1.9	ピーガード錠 60mg	在庫がなくなったため ※代替薬：ピーガード錠 20mg・30mg

成分名（薬品名）	主な改訂内容
バルプロ酸ナトリウム （デパケンR錠・シロップ、 セレンカR錠・顆粒）	※重大な副作用：間質性肺炎、好酸球性肺炎があらわれることがあるので、咳嗽、呼吸困難、発熱等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線・CT 等の検査を実施。疑われた場合には投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等適切な処置。
リキセチド [®] （リキセチド皮下注）、リクセチド [®] （遺伝子組換え）（ヒクトーザ [®] 皮下注）、アカルボース（グルコバ [®] イ錠）、アタグリフチン（スイー錠）、アログリフチン安息香酸塩（ネシー錠）、シタグリフチンリン酸塩水和物（グラクティブ錠、ジャスピア錠）、ピオグリタゾン塩酸塩（アクトス錠）、ミグリトール（セイブル錠）、リナグリフチン（トラゼンタ錠）、ボグリボース（耐糖能異常の効能を有しない製剤）（ボグリボース OD フィルム「QQ」）	※重要な基本的注意：低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している患者に投与するときには注意。
クロビドグレル硫酸塩 （ブラビックス錠）	<p>※重要な基本的注意：後天性血友病（活性化部分トロンボプラスチン時間(aPTT)の延長、第Ⅷ因子活性低下等）があらわれることがある。aPTT の延長等が認められた場合には、出血有無にかかわらず、後天性血友病の可能性を考慮し、専門医と連携するなど適切な処置を行うこと。</p> <p>※重大な副作用：・好酸球性肺炎…咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線・CT 等の検査実施。異常が認められた場合には、投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。</p> <p>・薬剤性過敏症症候群 …初期症状として発疹、発熱がみられ、更に肝機能障害、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現等を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、症状があらわれた場合には投与中止、適切な処置を行うこと。なお、ヒトヘルペスウイルス 6(HHV-6)等のウイルス再活性化を伴うことが多く、投与中止後も発疹、発熱、肝機能障害等の症状が再燃あるいは遷延化することがあるので注意。</p>
ボグリボース（耐糖能異常の効能を有する製剤） （ベイス錠）	※重要な基本的注意：本剤は低血糖症状を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等に従事している糖尿病患者又は耐糖能異常を有する者に投与するときには注意。
クリゾチニブ [®] （サーコリア [®] セル） （緊急購入薬）	<p>※警告：劇症肝炎があらわれ、死亡に至った例が報告されている</p> <p>※重要な基本的注意：・劇症肝炎があらわれることがある ・徐脈があらわれることがあるので、脈拍、血圧測定を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。</p> <p>※重大な副作用：・劇症肝炎 ・徐脈（随伴症状：低血圧、失神、めまい等）</p>
アムホテリシン B（リボゾーム製剤）（アムビゾーム点滴静注用）	※重大な副作用：無顆粒球症、白血球減少
アタザナビル硫酸塩 （レイアタツカ [®] セル）	※重大な副作用：尿細管間質性腎炎…観察を十分に行うこと。なお、腎間質に結晶の沈着が認められた症例が報告されている。

包装変更のお知らせ

◎アデホスコーワ顆粒 10%(一般名:アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物) <代謝賦活剤・抗めまい剤>

変更内容	現行品		変更品
添付文書の薬効名	代謝賦活剤	→	代謝賦活剤・抗めまい剤
個装箱・ラベルの薬効名	ATP 製剤 (腸溶性顆粒)	→	代謝賦活剤・抗めまい剤

◎アラセナー-A 軟膏 3%(一般名:ピダラピン) <抗ウイルス剤>

アルミチューブに「調剤包装単位コード」追加

◎グロジェクト BC 注射用 8mg <一般名:ソマトロピン> <遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤>

- ・ 個装箱、容器ラベル、中箱、添付文書等の社名ならびにロゴマーク変更
- ・ 個装箱、中箱の仕様ならびにサイズ変更
- ・ 個装箱側面の専用注入器の表示に、「グロウジェクター2」を追加
- ・ 製造番号ならびに使用期限の表示を黒地に白文字のレーザー印字に変更

変更内容	現行品		変更品
個装箱形状、仕様変更	 PET 製ブリストア	→	 紙トレイ

◎トリクロロールシロップ 10%(一般名:トリクロホスナトリウム) <催眠剤>

変更内容	現行品		変更品
使用期限・製造番号の表示方法	白地に黒色の刻印	→	黒地に白抜き刻印

◎ネオシネジンコーワ注 1mg(一般名:フェニレフリン塩酸塩) <血管収縮・血圧上昇剤>

- ・ アンプルの形状変更
- ・ アンプルカットマークの色を白から青へ変更
- ・ 副片付ラベルに変更

◎プロタノール L 注 0.2mg(一般名:l-イソプレナリン塩酸塩) <心機能・組織循環促進剤>

- ・ アンプルの形状変更
- ・ 副片付ラベルに変更

◎フロリードゲル経口用 2%(一般名:ミコナゾール) <口腔・食道カンジダ症治療剤>

アルミチューブに「調剤包装単位コード」追加

◎モーラステープ 20mg・L40mg(一般名:ケトプロフェン) <経皮鎮痛消炎外用薬>

- ・ 薬袋を開封する際、開封口に段差が付くように改良 (モーラステープ L40mg のみ)
- ・ 薬袋の開封方法がひとめで分かるアイコンを表示

◎ラックビー微粒 N 散(一般名:ビフィズス菌) <ビフィズス菌製剤>

- ・ アルミ袋のデザイン変更
- ・ 調剤包装単位コード (GS1 コード) を表示

貯法変更のお知らせ

★ハンプ注射用 1000(一般名:カルペリチド) <α型ヒト心房性ナトリウム利尿ポリペプチド製剤>

(変更前) 貯法: 10℃以下保存 → (変更後) 貯法: 室温保存

①新規常備依頼医薬品 (合計 14品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アコファイト [®] 239	錠	100mg	36.2	アステラス	Acotiamide Hydrochloride Hydrate 機能的ディスヘプシア(FD)治療剤 ★FDの食後愁訴症候群(PDS)に対し、4週間投与で52.2%の改善率→プラセボと比較して優越性(他の消化管機能改善薬では認められていない) ★アセチルコリンエステラーゼ阻害薬 【発売:2013.6.6】
スイニー 396	錠	100mg	83.0	三和化学	Anagliptin 選択的DPP-4阻害剤 ★1日2回投与により、1日1回型DPP-4阻害薬と比較して夕食後のGLP-1分泌増強とグルカゴン分泌抑制が期待できる ★1回量200mgへ増量可能 ★脂質改善作用(LDL-C低下作用) 【発売:2012.11.30】
スープレイン吸入麻酔液 399	吸入液	240mL	43.7/mL	ハクスター	Desflurane 全身吸入麻酔剤 ★血液ガス分配係数が0.42と小さく、麻酔からの早い覚醒、回復 ★低い体内代謝率→肝・腎機能障害者への影響少ない ★教育病院として様々な薬品の使用経験を積むことが重要 ★安価で経済的 【発売:2011.7.29】
スチハーガ [®] 429	錠	40mg	5,424.3	ハイエル	Regorafenib Hydrate 抗悪性腫瘍剤 ★治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に有効性が認められた世界初の経口マルチキナーゼ阻害剤 ★血管新生に関わるキナーゼ(VEGFR1, VEGFR2, VEGFR3, TIE2)、腫瘍微小環境に関わるキナーゼ(PDGFRβ、FGFR)、腫瘍形成に関わるキナーゼ(KIT, RET, RAF-1, BRAF)を阻害 ★標準化学療法施行後に病勢進行が認められた三次治療以降の転移性結腸・直腸癌患者を対象として国際共同第Ⅲ相臨床試験においてプラセボと比較して全生存期間を有意に延長 【発売:2013.5.13】
セフトリアキソンナトリウム静注用「日医工」 613	注	1g	336.0	日医工	Ceftriaxone Sodium Hydrate セフェム系抗生物質製剤 ★市中肺炎、院内肺炎、院内尿路感染症に対して汎用性が高い(市中感染症診療に重要) ★尿中に約55%、胆汁中に約45%排泄→透析患者に使用可能 ★後発医薬品 【発売:2012.12.14】
ソブリアード [®] 625	Cap	100mg	13,134.6	ヤンセン	Simeprevir Sodium 抗ウイルス剤 ★従来の治療法の陰性化率73.0%、本剤 88.6%の陰性化率 ★同等の安全性 ★1日1回服用→アドヒアランスの向上 【発売:2013.12.6】
デノスタチュアブル配合 249	錠	沈降炭酸カルシウム 762.5mg 、 コレカルシフェロール 0.005mg (200IU)	20.9	第一三共	Precipitated Calcium Carbonate/ Cholecalciferol/Magnesium Carbonate カルシウム/天然型ビタミンD3/マグネシウム配合剤 ★1日1回1剤投与でCa補正可能 ★ランマーク皮下注(デノスマブ)国内治験時に併用実績を有し、低Ca血症の発現抑制 ★RANKL阻害薬(デノスマブ)投与に伴う低カルシウム血症の治療および予防 【発売:2013.5.31】
ネオキシテーブ [®] 259	貼付	73.5mg	189.4	旭化成ファーマ	Oxybutynin hydrochloride 過活動膀胱治療剤 ★日本初の経皮吸収型過活動膀胱治療剤 ★1日1回貼付のテープ剤→安定した血中濃度維持 ★肝初回通過効果を回避可能→活性代謝物による抗コリン性副作用の低減
ノウリアスト 116	錠	20mg	760.7	協和発酵キリン	Istradefylline パーキンソン病治療剤 ★非ドパミン系の新規作用メカニズムをもつパーキンソン病治療薬で、世界初のアデニンA _{2A} 受容体拮抗薬 ★ウェアリングオフ現象を有するパーキンソン病患者に対し、1日平均0.7時間減少 ★1日1回投与で症状改善効果

ハーゼタ点滴静注 429	注	420mg/14mL	231,866.0	中外	Pertuzumab (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤 ★抗HER2ヒト化モノクローナル抗体 ★HER2の細胞外ドメインIIに特異的に結合し、細胞内シグナル伝達系を阻害、細胞増殖抑制、アポトーシス誘導、ADCC(抗体依存性) ★ハーゼタとハーセフチンの併用(HP療法)により、包括的にHER2シグナルを遮断し、抗腫瘍作用を発揮 ★HER2陽性手術不能又は再発乳癌の一次治療を対象としたCLEOPATRA試験において、ハーゼタ、ハーセフチン及びドセタキセル治療群は対照群と比し、無増悪生存期間及び全生存期間を有意に延長
ビソプロロール 214	貼付	4mg/枚	89.3	トーアエイコー	Bisoprolol 経皮吸収型・β ₁ 遮断剤 ★日本初の降圧薬の経皮吸収型製剤→経口投与不可の患者へ適用可能 ★1日1回24時間貼付→ピーク・トラフ濃度の差が小さく安定した血漿中薬物濃度を持続 【発売:2013.9.10.】
デノスマブ皮下注シリンジ 399	注	60mg	28,482.0	第一三共	Denosumab (Genetical Recombination) ★ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤 ★骨吸収に必須のマトリックス-1(RANKL)を特異的に阻害する新規作用機序→従来薬に比し、高い骨折抑制効果、骨密度上昇効果 ★6カ月に1回の皮下投与製剤→コンプライアンス向上 【発売:2013.6.11.】
イバンドロン酸ナトリウム水和物 399	注	1mg	4,918.0	大正富山	Ibandronate Sodium Hydrate 骨粗鬆症治療剤 ★ビスホスホネート注射剤 ★月1回、1mLのワンショット静注→経口投与困難患者や寝たきりの患者に投与可能 【発売:2013.8.29.】
リクシメタ皮下注 249	注	300μg/キット	6,972.0	サノフィ	GLP-1受容体作動薬 Lixisenatide ★国内で唯一、基礎インスリンとの併用可能なGLP-1受容体作動薬 ★1日1回投与で優れた食後血糖低下作用、HbA1cも有意に改善 【発売:2013.10.16.】

②剤形・規格追加医薬品 (合計4品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アクトテム皮下注オートインジェクター 639	注	162mg	38,200.0	中外	Tocilizumab (Genetical Recombination) 関節リウマチ治療剤 ★点滴静注に比べて投与時の調製不要 ★点滴静注に比べて、投与時間が短縮→患者待ち時間の短縮 【発売:2013.2.28.】
エンブレル皮下注ペン 399	注	50mg/1mL	30,384	ファイザー	Etanercept (genetical recombination) 関節リウマチ治療剤 ★ワンクリックで簡単な投与→患者にとって簡便 【発売:2013.6.10.】
オレンシア皮下注シリンジ 399	注	125mg/1mL	27,171	小野	Abatacept (Genetical Recombination) 関節リウマチ治療剤 ★プレフィルトシリンジ製剤で調製・手技簡便 ★関節リウマチにおける炎症発症の上流に位置する抗原提示細胞とT細胞間の共刺激シグナルを阻害することでT細胞の活性化を抑制し、下流の炎症性サイトカインやマトリックス-1の産生抑制 【発売:2013.8.27.】
サムスカ 213	錠	7.5mg	1,660	大塚	Tolvaptan V ₂ -受容体拮抗剤 ★7.5mg製剤のみが肝硬変における体液貯留の適応を有する ★電解質を低下させることなく水だけ排泄可能 ★腎機能への影響少ない 【発売:2012.8.28.】

③切り替え医薬品 (合計11品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アズノールうがい液4% 226	外用液	10mL/本	521/本	日本新薬	Sodium Gualenate Hydrate アズレン含嗽液 ★アズレンスルホン酸ナトリウムを含む初めての液体の含嗽剤 ★溶解が容易で、優れた溶解性 【発売:2002.8.19.】
ウロナーゼ静注用 395	注	6万単位	3,142.0	持田	Urokinase 線維素溶解酵素剤 ★従来品(ウロナーゼ静注6万単位)が販売中止のため、代替薬 【発売:1985.12.17.】

ゾメ点滴静注 399	注	4mg/100mL	32,254.0	ハルティス	Zoledronic Acid Hydrate 骨吸収抑制剤 ★従来品(ゾメ点滴静注4mg/5mL)に比べ、希釈不要→手技簡便、調製時間の短縮 【発売:2013.2.18.】
ティーエスワン配合OD錠T 422	錠	20mg 25mg	675.6 812.8	大鵬	Tegafur・Gimeracil・Oteracil potassium 代謝拮抗剤 ★口腔内崩壊錠→脱カプセル・簡易懸濁不要→退院後・外来でのコンプライアンス向上 ★ティーエスワン配合カプセルと同薬価 【発売:2013.6.27.】
ピカネイト輸液 331	注	1000mL	467.0	大塚	重炭酸リンゲル液 ★Mg ²⁺ を2mEq/L配合→血中マグネシウム濃度を維持 ★ソフトバック製剤→ヒカーボン輸液(ソフトプラスチックボトル)、ウイーンF(プラスチックボトル)より点滴速度安定 ★ソフトバック製剤は廃棄時に嵩張らない→廃棄コスト軽減 【発売:2010.11.25.】
プレティニン 399	錠	50mg	288.4	旭化成	Mizoribine 免疫抑制剤 ★近年、効果を十分に発揮するため、1日1回150mgあるいは、1回300mgの隔日投与が行われている→50mg錠であればコンプライアンス向上期待 【発売:1984.3.17.】
プレベナー13水性懸濁注 631	注	0.5mL	—	ファイザー	Pneumococcal 13-valent Conjugate Vaccine (Diphtheria CRM197 Protein) 肺炎球菌ワクチン ★肺炎球菌の血清型が7価から13価へ増加→広い範囲で予防効果 ★従来品(プレベナー水性懸濁皮下注)は11月1日から定期接種として使用不能
ホナロン経口 399	ゼリー	35mg	1,300.8	帝人	Alendronate Sodium Hydrate 骨粗鬆症治療剤 ★他の経口剤と識別しやすい→正しく服薬可能 ★加齢による口腔乾燥等により嚥下機能が低下した高齢者でも服薬容易→アドヒアランスの向上 ★消化管通過速度が速い→消化器に関する有害事象軽減の可能性あり 【発売:2013.3.12.】
リーバクト配合経口 325	ゼリー	20g	246.5	味の素	分岐鎖アミノ酸製剤 ★市販後調査の集積→肝癌発癌予防効果 ★包括的肝炎ガイドラインで1日BCAAとして12g服用を推奨 ★顆粒の服薬困難患者へ投与の選択肢の増加→アドヒアランス向上の期待 【発売:2013.10.30.】
リハロD 218	錠	2mg	125.9	興和創薬	Pitavastatin Calcium HMG-CoA還元酵素阻害剤 ★スタチン製剤で初の口腔内崩壊錠 ★従来品(リハロ錠)と同薬価 【発売:2013.7.3.】

④新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品 (合計13品目)

商品名	剤形	規格	削除理由
アクテムラ点滴静注用	注	400mg	アクテムラ皮下注オートインジェクター162mg採用の場合、削除
エンブレル皮下注シリンジ	注	50mg	エンブレル皮下注ペン50mg採用の場合、削除
含嗽用ハチアスレ	顆粒	2g	アスノールうがい液4%採用の場合、削除
サムスカ	錠	15mg	サムスカ錠7.5mg採用の場合、削除
ゾメ	注	4mg/5mL	ゾメ4mg/100mL採用の場合、削除
効メット	細粒	20%	アコファイト100mg採用の場合、削除
ティーエスワン配合カプセルT	Cap	20mg 25mg	ティーエスワン配合OD錠T20・25mg採用の場合、削除
レミンソフト	坐剤	10mg	リーバクト配合経口ゼリー採用の場合、削除
ヒカーボン輸液	注	500mL	ピカネイト輸液500・1000mL採用の場合、削除
プレティニン	錠	25mg	プレティニン錠50mg採用の場合、削除
ホナロン	錠	35mg	ホナロン経口用ゼリー35mg採用の場合、削除
ホラキス	錠	3mg	ネオキシテープ73.5mg採用の場合、削除
リハロ	錠	2mg	リハロD錠2mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、削除します。あるいは、特定の診療科で問題のある場合、「診療科限定」に登録します。(注:「診療科限定」は原則、在庫しない医薬品です。)

⑤削除医薬品（合計10品目）

商品名	剤形	規格	削除理由
アトネル	錠	17.5mg	アトネル錠75mg採用のため、削除
ウロキナーゼ	注	6万単位	販売中止のため、削除
エコリン	眼軟	3.5g	アイリーア硝子体注射液40mg/mL採用のため、削除
ヒルナミン筋注	注	25mg	シプレキサ筋注用10mg採用のため、削除
プレナー水性懸濁皮下	注	0.5mL	販売中止のため、削除
ヘキサックAL液1%	外用	250mL	クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール消毒液1%「東豊」採用のため、削除
ユナシン	錠	375mg	トビエース錠4mg採用のため、削除
レキップ	錠	0.25mg 1mg 2mg	レキップCR錠2・8mg採用のため、削除